

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
60GHz 帯無線設備作業班（第9回）
議事概要

1 日時

令和2年12月18日(金) 10:00~11:00

2 場所

WEB 会議

3 出席者

構成員：梅比良主任、児島主任代理

居相構成員、飯塚構成員、市川構成員、伊藤構成員、上田構成員

大石構成員、大橋構成員、小竹構成員、北久保構成員、小島構成員、

佐々木構成員、城田構成員、高橋構成員、谷口構成員、竇構成員、

富樫構成員、平木構成員、真壁構成員、松下構成員、三瀬構成員、渡辺構成員

総務省：大野課長補佐、宇野係長、廣谷官

4 概要

(1) 前回議事録の確認

事務局より資料 60 作 9-1 の内容について確認が行われ、議事録(案)が承認された。

(2) 陸上無線通信委員会報告(案)について

事務局より資料 60 作 9-2 及び資料 60 作 9-3 に基づき説明が行われ、以下の質疑
応答が行われた。

谷口構成員：資料 60 作 9-3 (概要) P12 の「実機による干渉検討 (WiGig との干渉)」
について、実験結果と机上計算結果を並べているが、前ページに被干渉機諸元の
変調方式に対する注記として「※通信速度から推定」との表記があるにも拘らず、
測定結果にはその推定される変調方式が記されていない。本測定では BPSK のみ
で評価したものである事を明記したほうがよいのではないか。

事務局：実験のご協力をいただいたアルプスアルパイン様と相談して修正案を検討す
る。

谷口構成員：承知した。

梅比良主任：適宜記載を修正いただくということで承知した。

大石構成員：最終回ということで、細かい部分にはなるが、資料 60 作 9-2 (報告案)
の P83~や資料 60 作 9-3 (概要) に「スペクトルアナライザ」という記載があ
るが、「スペクトラムアナライザ」のほうが正しいかと思うので、修正をいただけ
ればよろしいかと思う。また、資料 60 作 9-3 の P7 のパルスセンサー方式の要

求条件①の1ポツ目の3行目に「割当てを前提とする」という記載がある。国内分配表をみるとこの帯域は無線標定というのは書かれているので、新たな周波数を割り当てるようなニュアンスではなく「利用」のほうがより適切かと思う。

梅比良主任：いただいた内容についてすべて反映して問題ないように思う。

事務局：ご指摘のとおり修正させていただく。

佐々木構成員：資料60作9-2（報告案）P23, 75, 86について、「占有周波数帯域幅」ではなく「占有周波数帯幅」にて統一いただきたい。

梅比良主任：承知した。概要のほうにもあるのか。

事務局：承知した。ご指摘のとおり修正させていただく。資料全体の記載について、事務局で改めて確認させていただく。

（5）その他

事務局より、資料60作9-2の資料60作9-3についてはご指摘いただいた箇所を修正した案を送付し、意見照会を行う旨発言があった。さらに、事務局より、本会合をもって作業班における検討は終了となる予定であるが、今後、陸上無線通信委員会やパブリックコメントの結果によって、必要に応じて作業班を開催する旨発言があった。また、陸上無線通信委員会の報告後にパブリックコメントを1ヶ月ほど実施し、翌年の3月の情報通信技術分科会に報告を行う予定である旨発言があった。

以上